

ひよこ通信

ひよこの会会報 令和3年3月号

発行 八千代心身障害児者父母の会(ひよこの会)
〒276-0044 千葉県八千代市萱田町542-81
電話 & Fax 047-450-9144
発行人 会長 吉野真里子、編集 会報編集委員会

◇にじと風保護者会の報告です

- ・日時 令和3年3月13日(土)、10:00~12:00
- ・出席者 上野和美/鈴木礼子/笠川智子/清水和美/飯沼久実/島野瞳/酒匂美砂/伊藤麻紀/吉野真里子
- ・話合ったこと(今回も三蜜を避けてWEB会議形式で行われました)
- ☆最初の自己紹介の後、コロナ禍に見舞われた今年度の活動を振り返りました。
 - * 収益事業は、コロナ禍に見舞われた影響で外部のバザー等への参加は自粛、市役所フリマは最初の緊急事態宣言が解除された後の7月に1回だけ実施。できたのは、きょうされん物品販売・資源回収のみでした。
 - * ライフサポートファイル書こう会は、残念ながら開催できませんでした。
 - * 施設見学等の研修事業も中止となりました。またコロナ禍の影響で、夏祭り・一泊旅行等の「にじと風」行事が中止となったため保護者の参加もなくなりました。
 - * オンラインでの茶話会を11月から2回実施しました。来年度も継続の方向です。
- ☆来年度の活動に向けて
 - * 収益事業は、コロナ禍収束不明のため今年度と同様の扱い、市役所フリマは下半期からと見込み、それに合わせて当番表を作成することにするが、当番は具体的に何をするのか、マニュアル以外にも事前に理解ができれば初めて担当になってもやり易くなるのでは。また、手作り品が溜まってきているので販路のアイデアを募集したい。
 - * ライフサポートファイル書こう会は、コロナ禍が落ち着いたら再開したい。自宅で作成する方には、素材を提供できるので希望者は申し出ください。
- ☆にじと風からの報告
 - * コロナ禍での施設の自粛運営についての保護者会の皆様のご理解ご協力へのお礼と、にじと風のおかれている状況、課題についての報告がありました。



◇ライフサポートファイル書こう会に参加して

<「書こう会」の世話人を務めた白柳都さんに想いを伺いました>

私は、3年ぐらい前ににじと風保護者会から香取で開催されている前本先生のライフサポートファイル講習会に参加しまして、一年間に3回ぐらい参加してから、八千代市でもやろう、ということになりまして、前本先生に来ていただいて講習会を開催しました。

それで、児童発達支援センターや学校でもらった成長の記録や面談の時にもらった資料を取っておいたものが家に色々あるので、そうしたものを講習会に持って行ってファイルしていきました。前本先生の講習会では、色々な素材がたくさん用意されていて、あれこれファイルをデコレーションしていく作業もとても楽しく、にじと風から参加した方も八千代市の講習会の参加者の皆様にも、とても好評でした。

それで、八千代市でもライフサポートファイルを書く場を作ろう、ということで毎月1回、にじと風の2階をお借りして、開催することになりました。まだ素材も少なく、参加者も多い時で3人程度なのですが、他の保護者の方々と話しながら楽しく過ごす時間となっています。

新型コロナウイルスの影響で、昨年度は開催できませんでしたが、状況が落ち着いたら、参加者の皆さんと一緒に素材を集めて、また作成会を再開したいと思います。

☆八千代での「書こう会」

平成29年12月、香取市から前本先生を講師にお招きして、最初の講習会が開催されました。その後も毎年12月に前本先生に来て頂いて、市民会館を会場に開催しています。

前本先生は、NPO法人コスモスの花理事長として「書こう会in香取」を指導しておられます。

通常は、ひよこの会(にじと風保護者会)が事務局として、原則月1回「書こう会」を開催していますが、昨年2月の第17回後は、コロナ禍を避けて休止中です。会の運営は、当初から世話人として、白柳さん、塩入さんに面倒を見てもらって、今年度は白柳さんをお願いしています。

◇災害に備えて

東日本大震災から10年、あの時、皆さんは何処で何をしていましたか？
 家族の安否の確認は直ぐとれましたか？ しばらくは連絡手段も不能でした。
 「にじと風」では、全ての利用者のご家族のどなたかと連絡が繋がったのは、翌日になってからでした。

今でも避難生活をされている方も大勢いらっしゃいます。
 福島原発事故の始末は解決の手段がまったく見えていません。八千代市でも事故発生当時の風向きの影響で放射線被害から免れていません。市産の“たけのこ”は、出荷前検査が終了した後に発行される証明書がなければ出荷・販売することはできないことになっています。

令和2(2020)年9月の台風15号の被害もありました。八千代市や佐倉市の一部でも停電が発生、地域によっては長期に亘って停電が続きました。

地震・竜巻など免れることができないものもありますが、私たちが事前に準備して対応できる事柄については知恵を働かせて対策を練って被害を最小に留めたいものです。

新型コロナウイルス感染症の蔓延も災害の一つといえるでしょう。
 施設での感染は、概ね職員などの外部からの感染と想定されます。この感染経路少しでも潰すことが、施設利用者にとっての安全安心に繋がるのだと思われます。
 にじと風では、独自に施設職員全員が定期的にPCR検査をすることとしており、3/3の検査でも全員陰性でした。



◇3月度の収益事業の報告

no.	日時	収益事業	収入(円)	担当
1	1/9(土)～3/5(金)、きょうされん販売(パレタパチョコ) *		22,125	上野和美/伊藤麻紀/島田玲美/島田妙子/他職員
2	2/13(土)、9:30-10:00	資源回収	2,858	大野晃
3	3/7(日)	市役所フリマ(運営・販売)	0	(新型コロナウイルスの影響を考慮し中止)

* 原価分を除いた利益を示す。

◇これからの予定

- ・4/4(日) 市役所フリマ(八千代 遊・友・バザール)⇒中止
- ・4/10(土)、9:30-10:00 資源回収
- ・4/14(水)、10:00-15:00 イオン販売(緑が丘)⇒不参加

◇編集後記

間もなく年度末です。
 新型コロナウイルス感染症の収束の光が見えたと思っておりましたが、また元に戻ってしまったかのようです。緊急事態宣言解除ということですが、平時に戻ったということでしょうか。
 “マスコミ”では新型コロナウイルスに関する科学的データの開示が影を潜め、単なる言葉遊びのにぎわいを見せられているのは辛く、じれったい思いです。
 (吉野康生記)